(5) 定点把握対象五類感染症の感染症別報告状況

ア インフルエンザ定点

平成27年は年間報告数10,130例,年間定点当たり報告数148.97,年間定点当たり報告数の過去5年平均値(平成22年から平成26年まで。以下同じ。)との比0.79,前年比0.49であった。

過去7年間の年間定点当たり報告数と比べると、平成22年、平成20年に次いで少なかった。

月別定点当たり報告数では、1月(106.24)、2月(25.91)が多く、5月 \sim 11月の報告数は少なかった。

年齢階級別では、5~9歳(22.1%)が最も多く、次いで0~4歳(17.7%)、10~14歳(14.0%)の順となり、14歳以下が全体の53.8%を占めた。

